

母校の思い出 31 大森六中同窓会 再稼動！

新年明けましておめでとうございます。いきさつはともあれ、“かごめ”の校旗のもと「お誘いあってのご集合」を、まずはお願い申し上げます。

同窓会。確かに存在はしていたようです。近年では（10年前）同窓会から校旗を贈呈しています。時が季節を運ぶように昨年春に、「今再びの同窓会を」と言う声が聞こえてまいりました。そうです、六中創立60周年記念式典（19年11月2日）の話題や小池小学校の同窓会立ち上げの動き等がきっかけでした。5月29日、清水窪・赤松・小池の各小学校・学区外の有志10名余の壮年が、それはそれは面映ゆげに、母校で顔を合わせたのでございます。以来、工藤校長先生にも特段のご協力を賜って回を重ね、“目覚め”の同窓会再発足まで漕ぎ着けました。

＊顧問：岸田哲・直井敏雄・古橋忠康の3氏

＊相談役：張替嶺雄氏。

＊会長：松南裕之氏（3期）

＊幹事長：相原秀年氏（6期）（連絡先03-3728-6605）

そしてご婦人も混えた核となる担当役員、会則案も定めまして「とにかくの始動」なのでございます。ここに末筆ながら「若い期の卒業生の積極的なご参加を！」心よりお願い申し上げます。僭越ですが、新春のご挨拶と共に「同窓会総会」のお知らせとさせていただきます。

（平成20年3月23日（日）午後1時・総会）

（小池 沼本 光史）

は、練習なりコンサートなりを覗いてみてください。ジャンルにかかわらず、雪谷文化センター祭への参加や老人ホームの慰問など地域への貢献や会員相互の親睦の為、合宿やハイキング等、「より良い演奏だけでなく音楽も楽しむこと」をモットーにしております。私もやってみたいと思っております。

雪谷ギターアンサンブル
当会は昭和六十三年にギターの好きな仲間が集まりスタートし、今年で二十二年目になります。現在十三名の会員は、毎週木曜日の十九時から二十一時まで雪谷文化センターにて練習を行っています。



クラシックからフラメンコ・最近のアニメソングまで、初心者の方歓迎です。会員一同お待ちしております。

連絡先

五七〇三・六三〇五（永井 昌男）

自治会リレー随筆 呑川の思い出

昭和10年に当地に生をうけ今日まで大過なく過ごしてきました。近所に呑川という小さな川がありますが、私の生活の上で多少なりとも影響がありましたのでここに述べたいと思います。中原街道にかかっている橋を「石川橋」、通称奥沢道路にかかっているのを「柳橋」といいます。

小さい頃プール等無い頃、「柳橋」の際から川辺に下りられる小道があり、夏の泳ぎに下りていきました。確か小学生の頃だと思いますが、胸ぐらいの深さでこみ等もなく底は砂の様に肌触りが良く、水も綺麗でした。上流の「島本橋」（石川台中学校手前）までは大きな木もなく行けましたが、それから先は竹やぶ等がありこわくて行けませんでした。又この頃父親などは、うなぎをとって来て食べさせてもらった記憶があります。

呑川はよく「あばれ川」とも言われています。今のように護岸や下水道が整備されてない時代なので、台風の豪雨または夕立の激しい時には、中原街道の冠水はもちろん、下流の方では床下、床上浸水の被害が年数回に及んでいました。現在は「石川橋」と「柳橋」の中間に多摩川への放水路ができたために、そのような事も無く安心して寝られるようになりました。

石川橋の際に「石橋供養塔」と「清流の復活」と柳橋の由来と思われる柳（勿論何代目と思われる）が植えられたちょっとした小さな公園がありますので、一度ご覧下さい。何かとりとめのない事ばかり書いてしまいました。

（石川台 K・N）



「お詫びと訂正」
ふれあい雪谷十九年もみじ号掲載の俳句の作者「永田 秋夫」は「永田 秋生」の間違いでした。また、母校の思い出本文中の藪のご主人の名前「千代」は「八代」の間違いでした。お詫びして訂正いたします。

【編集後記】
新春のお慶びを申し上げます。三十八万キロの彼方から届いた地球の出と入りの映像に目を見張った昨年、世界に先駆けた「かぐや」の快挙でした。
美しい地球に相応しく「ふれあい雪谷」編集室も、二月新築間近な特別出張所に移ってのスタートです。長年釣堀ファンの穴場だった「小池」も敷地の公園として生まれ変わろうとしています。地域の大切な財産として、豊かな成長を夢見ています。
（池の台 柏 三八子）
（発行）わがまち大田雪谷地区推進委員会
（編集）ふれあい雪谷編集委員会
（連絡先）雪谷特別出張所
大田区東雪谷四一三二二
電話 二七二九一五二二
（発行日）平成二十年一月一日
通巻第六十九号

ホームページ

http://koho/nishi/nishi_news/yukigaya/index.html

ふれあい 雪谷

平成20年

新年号



（笹丸 竹下 敬子さんの作品）

雪谷特別出張所の移転

次のとおり移転します。改築を進めるにあたり、地域の皆様方から多大なるご支援ご協力を賜りました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。新庁舎は、エレベーターや誰でもトイレ等を備え、駐車場も6台分確保しました。お気軽にご利用ください。

現庁舎業務終了日 平成20年2月8日(金)

新庁舎業務開始日 平成20年2月12日(火)

新所在地 東雪谷三丁目6番2号

電話番号 3729-5117

ファクシミリ番号 3729-1826

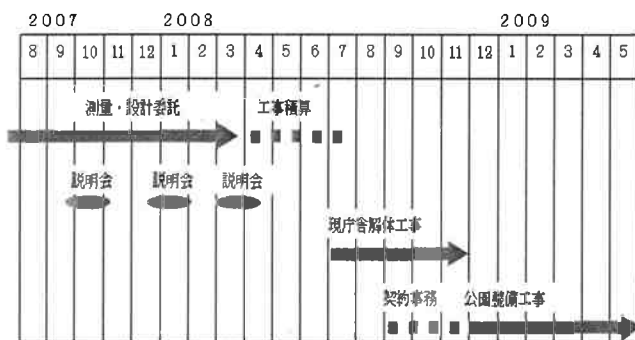
なお、電話番号及びファクシミリ番号は、変更ありません。



(雪谷特別出張所)

庁舎移転後、現雪谷特別出張所・雪谷保育園・ピジョンランド雪谷保育園の跡地は、取り壊して、約2,100㎡の公園として整備します。今後の予定は、次のとおりです。東中公園以上に地域の皆様に愛され親しまれる公園にしたいと考えています。ご意見ご要望をお寄せください。

◆ 今後の予定 ◆



(大田西まちなみ整備課 3722-3116)

年男・年女



今年の抱負

12歳

私はダンスを習っています。3年生の1月に始めました。むずかしくて、まだあまり上手にできません。でも、私はダンスが大好きだからいっぱい練習してかっこよくおどれるようにがんばりたいです。
(東雪 松吉 美佳)

24歳

私は今年で社会人として4年目を迎えます。職場の先輩方の熱心なご指導のお陰もあって、精神的にも成長したように思います。しかし、まだまだ至らない点も多く、不甲斐ない思いをすることもあります。

2回目の年男になる今年は、改めて気持ちを引き締め、全ての方に満足してもらえる仕事ができるようにさらに日々精進したいと思います。
(東中 Y・I)

60歳

早いもので、もう還暦を迎える年令となりました。私は、若いときから高血圧の両親の体質を引き継がないように、充分注意してきました。健康であることは本人自身も嬉しいし、幸せなことです。又他人に対しても迷惑を掛けないことになる訳です。今迄食事等にも充分気を使い、そして1日12,000歩位歩くように心掛けてきました。

現在健康でいられる事に感謝しこれからも続行していくつもりです。
(東中 Y・K)



60歳

還暦を迎え思うことは、仕事は忙しくても休日出勤をせず、家族が健康で過ごせることを願い、趣味のゴルフでホールインワンを達成すること、そして地元自治会の活動に参加し、地域のお役に立てればと思っています。
(石川台 飯塚 蔵)

72歳

昭和11年生まれ、6回目の年女です。子年はチョコマカと屋敷も分かたずよく働き、蓄財に励むと言われますが、私はその例外です。世の中には色々注文も有りますが、宇宙の星となる日まで、中庸を心がけ、中風にならぬよう、明るく、前向きに生きてゆきましょう。子年の皆様、新しい年に乾杯！
(南雪谷 H・K)

新成人

新成人になって思うこと

これまでの20年を振り返ってみると、自分が本当に様々な人と出会い、関わり合って生きてきたのだということに気付きます。私は、大学の学園祭を通じて、「人と人とのつながり」というものが、いかに大切かを学びました。様々な個性を持った人々が1つの志のもとに集まったとき、一人では到底なしえないようなパワーを発揮することができます。めまぐるしく変化する現代社会の中で、私たちの生活はどんどん便利になってきましたが、人と人とのコミュニケーションが希薄な社会は、決して「豊かである」とは言えないと思います。「自分さえ良ければそれでいい」というのではなく、他人に対して思いやりを持って接することこそ、今、最も必要なのではないかと思います。



私の憧れる「大人」とは、自分の意志をしっかりと持って行動し、周囲の人に対して何気ない気遣いをする事ができる、心の豊かな人です。それに少しでも近づけるよう、自分なりの目標をもって日々努力し、一步一步成長していきたいです。そして、今まで支えて下さった多くの人に対する感謝の気持ちを胸に、これから起こるあらゆる出来事や、かけがえのない人たちとの出会いを大切に、悔いの残らないよう精一杯生きていこうと思います。
(東雪 安藤 知紗)

「オトナ」になること

先日、無事に成人を迎えることができた。小さい頃は二十歳になることが待ち遠しかったものだが、実際になってみると、特別何も変化はなく、これといった感慨もない。

確かに成人になるということは、社会的には大きな意味のあることだと思う。例えば合法的に飲酒ができる一方で、逮捕されれば実名や顔写真が報道される。ただそれは裏を返せば、自身の行動に責任を負わなければならないというだけの話であり、大変形式的なものにすぎない。

大切な事は、その人の内面が本当に成長しているかどうかではないだろうか。いくら成人しても、そうした自覚が全く無い人もいれば、未成年でもちゃんと自分を持っている人もいる。形式的に大人になることは、誰でも出来る。それよりも、内面から本当の意味で「オトナ」になる事の方がずっと難しく、ずっと重要だと思う。

僕は今、大学でサークル活動をしているが、やはり先輩の指導一つをとっても、自身の人間性を問われるものだ改めて痛感している。成人したからといって、あまり先を見すぎずに、まずは目の前の事に全力で取り組み、その中で自身をさらに成長させていきたい。それが「オトナ」としての自覚の第一歩であると思っている。



(上池上 A・K)